

外科専門

花内外
柳臟科
病外一
科科般

◎診療時間
（午前八時より午後九時まで）
（但し急患は此の限にあらす）
（入院随意）
安齋外科醫院
平町田町大通り電話四三六番

切斷の苦しみなく
ゆひはれ、やけど、淋病
梅毒、さきさす、乳はれ
くさ、りうまらす
其他化膿するもの一切

靈藥ムテキ

發賣元 阿康藥店
縣社下古鍛冶町（電話四四番）
有偽物 要注意
要注意
うまくてセキ
がヨクトマル

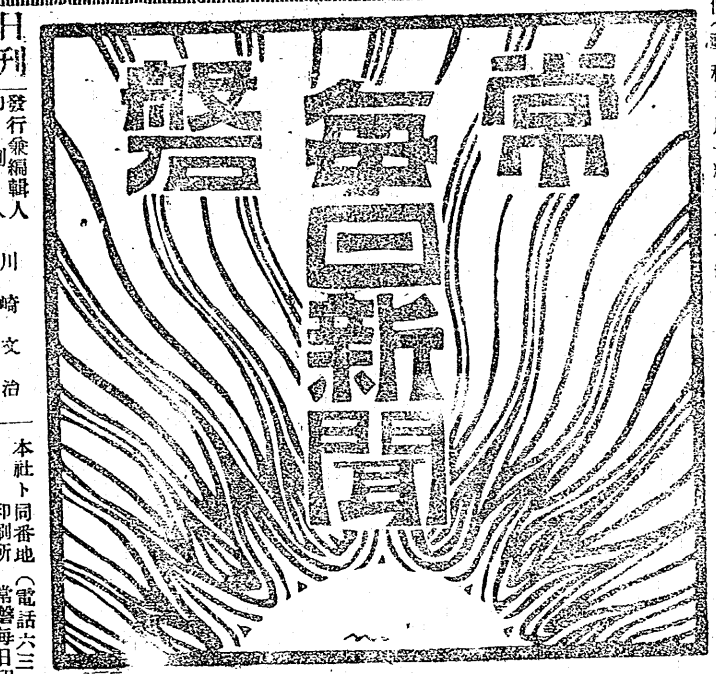
いや……君、見逃
ひたよ
い、アイギを求め
たね
いやコレカネ……
例の「ソレ」



り通車停町平
堂 札 正



にはかに郊外が春のまきました……
春の御散歩のせとにも
腕時計とユピワ
風ヨケニ是非必要な新型メガネの御用命は
各 國 時 計 平町五丁目
貴 金 屬 金 光 堂 時 計 店
眼 鏡 各種レンズ クジヤク印着針特約店
御時計修理品は電話七三六番へ御掛け下さい
早速店員御伺ひ致します



日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社同番地（電話六三〇番）
印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日三十月四

春の彩り!!
装ひは三井へ
羽二重九寸 博多九寸
京御召と錦紗小紋
主婦の友三秀會特選
▼帯皮陳列▲
何卒御用命は弊店へ……
平町三丁目
三井呉服店
電話三十八 七五一番

お花見には
酒 銘
乃 瓶 詰
先約五千ケ限り盃付
花見手拭付二合瓶詰三十銭
平町四丁目平驛通り
永山酒造店小賣部
電話二〇七番

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一三番

自昭和三年三月一日
至昭和四年二月廿八日
第三期
貸借対照表
株式百澤商店
負債之部

資本金勘定	100,000.00
仕入先勘定	26,950.00
借入金勘定	1,000.00
商品切手	5,000.00
法定積立金	5,000.00
諸積立金	2,950.00
前期繰越	4,000.00
当期純益金	2,950.00
合計	151,850.00

資産之部

未拂込資本金	25,000.00
什器	1,650.00
得意先勘定	16,400.00
金銀勘定	18,300.00
商品勘定	4,900.00
當座預金	5,270.00
振替貯金	3,300.00
取立手形	2,000.00
諸貸付金	3,000.00
土地建物	2,600.00
滞貸金勘定	1,400.00
受取手形	600.00
合計	151,850.00

昭和四年三月廿五日
株式會社百澤商店
取締役社長 百澤 易興
追而取締役任期満了に付き
改選の結果取締役社長に百
澤 易興氏取締役に百澤 才八
郎、殿本豊次の兩氏何れも
再選重任せり

小店員募集
但し十五六歳にて
尋常小學卒業
月給を呈します
一玩具行商人募集
詳細は面談
森下商店

正確 体温計
寒暖計 関内藥局
電四〇番

青年諸君に與ふ

寄 書
福島縣聯合青年團團長
醫學士 大 森 勇

第三に頭腦の尺度を合つて
事物に對し正確な判斷を得
たならば、書齋より街頭に
出で之を實行する勇氣と力
量を備へなければなりません。
孟子は自反して縮げられ
ば千萬人と雖も吾れ往かん
と申されましたが、信ずる
處に向つて勇往邁進す可き
であります。世評を恐れて
自分の頭腦の物差が示す尺
度を云ひ現し得ざる者の如
きは、生ける屍と申さなけ
ればなりません。惠林寺を
快川和尚が織田勢に功め立
たらば、遂に山門に火を放
たれました。快川和尚は猛
火に包まれ乍ら心頭を滅卻
すれば、火自ら涼しと唱ひ
端座して化したと申されま
す。宇宙の理法の流に掉さ
して舟を進めれば火自ら涼
しき妙境もあるのでありま
す。
吾人はこの三つの覺悟を胸
に納めて靜かに考ふる時、
大和民族の一員として生を
この世に享けた事を感謝し
なければなりません。世界
に幾多の國家が興敗を繰り
返したが、この理法を建國
の精神とした我が國のみが
獨り二千六百年の光輝ある
永き歴史を有して居るので
あります。
この理法の流に掉さして舟
を進め、我が國をして世界
の中心に擡ぎ上げ一大理想
國を建設して、皇化を四海
に光被せしめなければなら
ません。吾々大和民族の使
命はここにありるのでありま
すが、權權を取つて力溥す
る役割りは誰が演ずればよ
いのでせうか。青年でなけ
ればなりません。青年はこの
三つの覺悟を胸に納めて權
權を取つて力溥しなければ
なりません。
(をばり)

後藤伯遂に逝く

眠るが如き大往生

(東京電話)病臥中であつた後藤伯は十三日午前五時半近親者に見まもられて遂に逝去した、その臨終は少しの苦痛の色も止めず眠るが如き大往生にて眞に大政治家の末後を想はしめた。

平郵便局建築

工事の入札を行ふ

今月末本省から係官出張 地方請負業者に依頼

平郵便局の移轉改築案は設計も準備も整つて居り殊に四丁目の指定敷地は家屋の取拂ひを終つて約一ヶ年に垂んとするに未だに工事に着手されぬ有様なので一般から疑惑を向けられてゐたが、愈々近く建築に着手するとなつた工事の請負は地方請負業者に依頼する方針で本省から係官が平本月末半町に於て入札を行ふ。

詩南社の

詩歌展好評

本日から藤田に

平町文藝同人誌詩南車主催の詩歌展は廿一日から三日間の開催の所會場藤田女學校のバザーが本日からである爲め會期を繰り上げ同校三階に本日から出陳されたが準備期間の少なかつた割合には頗る多数を蒐集し得て所狭き迄に古近の逸品が異彩を放ち頗る好評を博して居る。

一週間適當

郡農會注意

石城郡地方に於ける稲の種蒔は五月下旬頃に行はれるので各農家では苗代の作りを開始したが郡農會では種蒔に際して種子を撰擇同時に籾の浸種期間等について夫れ々注意をなした從來石城郡地方では十五日以上も籾を浸水しておいたのであるが浸水の期間は試験研究の結果一週間位が適當なので郡農會で先づ浸水期間の改善を圖る由である。

椎尾代議士の講演は今晚

傍聴を歓迎

既報代議士文學博士椎尾辨匡氏の講演會は本十三日午後八時から平町青年團十三日會各宗聯合善華會主催を以つて開催される筈である。

求人側は十六七才

就職の大半は宮城縣以北

最近警城地方は不景氣の反映として求職者が多くなり平職業紹介所を訪れる者も非常に増加して来たので同町では求人方面の開拓に努力してゐるが求人希望者の大半は何れも年齢十六七歳の位の男を要求して居り之と反對に就職希望者は多くは年齢三十歳前後の血氣盛りの者であるため紹介所では周旋に非常に骨を折つてゐるが就職希望者の大半は宮城縣以北の各縣の者が多く従來は關東、關西からの者が多かつたのに反對なので

花の衛生

談師醫原市

四方山の雪も消れて寒い寒い冬が過ぎ去つて、草や木がそろそろ芽を出し始め梅が散つて櫻が咲き出すと云ふやうな春先の氣候になると、綿入は何時か恰に着換られ、厚いメリヤスのシャツは薄い肌襦袢に着換られると云ふやうな長閑な時節になつて來る。

が入場無料にて傍聴を歓迎する。

濱の木炭生産

濱三郡木炭同業組合の昨年中の生産木炭數量は石城七十九

本縣電氣總會は

十九日植田町にて

開催する事に決定

福島縣電氣總會の開催地に就いて植田町が豫定地となつたは既報の如く十一日平町東部電力營業所に濱通りの植電、四倉電、二本松、警城電氣その他關係會社幹部會を開いた結果十九日午後一時より植田町山田屋旅館に開催する事と決定したので地元植電會社では目下準備中である。

理想郷の歌

中堅農民打合

石城郡中堅農民講習會の第一回卒業同窓會では理想郷の實行委員總會を兼ねて來る十七日午前十一時元郡役所會議室に總會を開き本年の事業施行に就て打合をなす。



冬着類の始末

衣更への時節が來ました、着物や羽織の洗いを除いて始末いたしましたよう、まづブラッシンでよく塵を拂はね

萬二千三百五十八俵、双葉九十九萬七千三百四俵、相馬三十萬三千七百七十六俵合計百七十九萬三千八百八十八俵で前年度に比し二萬二千二百五十八俵の減少である。

四倉組員表彰

石城郡四倉署では去十日午前九時から同地海岸で管内六ヶ町村消防組五百名の春季檢閲を執行し左記優良組員を表彰した。

平町人力總會

平町人力車共濟會定期總會は十日午前十時から平町聚樂館に於て開催して各種の事項について協議を重ねた。

蚕業技術員が

專業計畫協議

石城郡蠶業技術員協會は來る二十日頃平町元郡役所會議室に於て開催する豫定であるが、此の協會は有名無實の状態であつて今日まで何等蠶業の發達に貢献する様な事もないので養蠶家にほゞ程協會の存立が期待されて居ない状態の爲め今回の總會を好機として内容の充實したものとて蠶業

明日の天氣

南西の風 朝曇り勝 ち次第に よくなる

長閑な 良い時節に

なるとは云ふもの、其の時分になると種々な病氣が起り易い時節であるから一層身體の衛生に注意しないと後悔しても取返しつかないことになり、實際嚴寒の時よりも却つて春先のボカカした氣候に變る時の方が種々の

病氣が 起り易く殊

に前から持つて居る病氣などがよく再發したがるものである、其の時分には殊に感冒が比較的多いやうに思はれると云ふのは氣温や湿度の關係が時候の變り目に

寒い日 がやつて來

たり、さうかと思ふとまた時候外れな暖かい日がある。と云ふために身體の調子が取悪く遂に感冒に犯されることが多思はぬ故障が起ることが多い、これは理窟であるが實際春先には感冒性の病氣が非常に多いといふことは事實である、第一に扁桃腺が

非常に 多い、これ

は咽喉部にある扁桃腺といふものが腫れて大きくなつ

感冒性

の病氣で、春先に罹る人が非常に多い其の原因は今迄寒かつた爲めに破々外出もしなかつた人も、少し暖かになつたので戸外に出ることが頻々になつて來る、其の時分は外出時の注意を怠ると云ふことが確に一つの原因であるらしい。

市原醫院院長市原卯太郎氏談